



第7回 小児訪問看護情報交換会

主催：全国訪問看護事業協会

いざという時、どうすればいいの？ 医療的ケア児の災害対策の話聞いてみよう！

令和7年
9月6日(土)
13:00～
16:00



←お申込みは
こちらから

- 参加費** 2200円
- 開催方法** ZOOM ウェビナーによる Web 配信
- 対象者** 小児訪問看護を始めて間もない看護師、小児訪問看護の経験のない看護師等
その他どなたでもご参加いただけます

医療の進歩により、人工呼吸器や経管栄養などを必要とする医療的ケア児が増えており、医療的デバイスを使いながら在宅で療養生活を送る子どもたちがいます。医療的ケア児への支援は近年充実してきていますが、医療と福祉をつなぎ親と子を支える役割として、訪問看護は欠かせない存在になっています。

近年では、地震や台風などの災害が多発しており、在宅で療養する子どもたちを守るために必要な災害対策について知っておくことが重要です。

今回は、「いざという時、どうすればいいの？医療的ケア児の災害対策の話聞いてみよう！」というテーマで、災害への準備と災害発生時の対応についてお話を聞き、ご参加いただいた皆さまと意見を交換したいと思います。災害が起きた時に、どのように子どもたちの安全を守るか、一緒に考えませんか？

毎年好評な利用者家族の方もお招きし、訪問看護との関わりや災害についてもお話いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

総合司会：小児訪問看護推進検討部会委員 小宮山 日登美氏

13:00～13:05 開会挨拶：全国訪問看護事業協会副会長 高砂 裕子氏

講演

13:05～13:35 (30分)	大震災で何が起るの？何を備えるの？	浜松市医療的ケア児等相談支援センター 聖隷こども家庭総合支援センター センター長 大木 茂氏
13:35～14:05 (30分)	訪問看護との関わりや災害対策について(仮題)	利用者家族 三浦 めぐみ氏
14:05～14:35 (30分)	千葉県医療的ケア児等支援センター ぼらりすの取り組み ～重症児者と地域を繋ぐ災害支援～	千葉県千葉リハビリテーションセンター 医療的ケア児等支援センターぼらりす 景山 朋子氏
10分 休憩		
14:45～15:15 (30分)	小児在宅の現場から ～熊本地震から学んだこと～	2MORO(トゥモロー) 代表理事 中本 さおり氏
情報交換：シンポジウム		
15:15～15:55 (40分)	いざという時、どうすればいいの？ 医療的ケア児の災害対策の話聞いてみよう！ 《座長》 小児訪問看護検討部会委員 倉田 慶子氏	《シンポジスト》 大木 茂氏 中本 さおり氏 景山 朋子氏 三浦 めぐみ氏

15:55～16:00 閉会：小児訪問看護推進検討部会委員 田中 歩氏

8月27日(水)までに、上記QRコードまたは当協会のホームページ⇒研修会一覧からお申込みください。
ホームページ：<https://www.zenhokan.or.jp/mailform-training/>

【お問い合わせ先】一般社団法人全国訪問看護事業協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館401 TEL 03-3351-5898 FAX 03-3351-5938